

令和5年度第3回常総市公共交通活性化協議会

会議要旨

■開催

令和5年12月25日（月）午前10:00～11:10 常総市役所議会棟2階大会議室

■出席

委員：海老原委員（女性団体じょうそう事業委員会），篠崎委員（自治区長連絡協議会），根本委員（常総地区交通安全母の会連合会），高橋委員（シルバークラブ連絡協議会），吉原委員（市議会），◎鈴木委員（筑波大学），仲野委員（茨城運輸支局），山浦委員代理（茨城県交通政策課），浜野委員代理（常総工事事務所），平間委員代理（常総警察署），北村委員（関東鉄道㈱鉄道部），白鳥委員代理（関東鉄道㈱自動車部），相山委員（㈱アイヤマ観光），松村委員（㈲三妻タクシー），谷田部委員（関鉄労組），吉田委員代理（市商工会），細谷委員（市社会福祉協議会），宇都宮委員（筑波キングス・ガーデン），石井委員（副市長），飯泉委員（市長公室長），横島委員（総務部長），堀委員（福祉部長）

※◎：議長

事務局：小林都市建設部長，神達都市計画課長，前島課長補佐，坂巻室長，岡本係長，佐賀主任，猪瀬主幹，平井主幹（記録者）

草間係長（市社会福祉協議会）

城平氏（コンサル会社）

その他：議案第2号に関連する出席者（関鉄パープルバス株式会社 宮野氏），

オブザーバー（筑波大学学生）

■内容

報告第1号 予約型乗合交通ふれあい号の利用状況について

報告第2号 つくばみらい市コミュニティバスの乗り入れについて

報告第3号 常総市運賃協議分科会における協議結果について

議案第1号 常総市コミュニティバス運行計画（案）のパブリックコメントの結果及び最終案について

議案第2号 関鉄パープルバス株式会社「石下駅～鬼怒中学校」系統の廃止について（県地域交通政策推進協議会からの付託）

議案第3号 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（案）について

その他（1）コミュニティバスのデザインについて

（2）チラシ「JOY BUSの運行開始」について

■協議内容（◆：議長，●：委員，○：オブザーバー，▲：事務局）

開会 午前10:00

【報告第1号】予約型乗合交通ふれあい号の利用状況について

◆：3ページ（「8. 年度別利用状況」）を見ると，過去は1日平均80人から90人くらい，100人を超える年もあったが，コロナ禍になって60人を切る状況になったのが少しずつ回復しているというのが，赤い折れ線グラフで表されている。また，5社から4社になるということで，輸送力の心配があるかと思う。お断り件数の表が2ページ中段にあり，これまで，午前中はお断り件数がそれなりにありましたが，午後はあまりなかったのが，現在は増えてきていることが読み取れる。何かご意見はありますか。

（⇒意見なし）

【報告第2号】つくばみらい市コミュニティバスの乗り入れについて

●：運賃は決まっているのか。

▲：運賃は，大人200円，子供100円となっている。

◆：この情報は常総市民の皆様にも周知いただくのか。

▲：コミュニティバスの新規運行にあたり，3月頃に市民の皆様には公共交通ガイドというバスの時刻表等を冊子のような形でお届けする。その中で，近隣自治体への乗り継ぎについても，例えばつくばみらい市や守谷市について記載して周知できればと考えている。

（⇒意見なし）

【報告第3号】常総市運賃協議分科会における協議結果について

◆：1日乗車券というのは，紙で出す形になるのか。

▲：現在はそのような形で想定している。

（⇒意見なし）

【議案第1号】常総市コミュニティバス運行計画（案）のパブリックコメントの結果及び最終案について

◆：パブコメで多くのご意見をいただいたが，可能なところは運行計画を見直してご対応いただいている。乗り継ぎなども想定されると思うが，1日乗車券は，2回乗ると同金額ということなので，そういう方は，基本的には1日乗車券を購入していただく想定ということか。

▲：はい。

●：ルートを多く設定するにあたり，ダイヤの設定などに大変ご苦労されたかと思う。ダイヤを拝見すると，例えば地域によっては，朝夕ではなく昼の時間帯のみで運行が完結してしまうようなルートも見受けられるので，バスだけで用足するというのがなかなかイメージしにくい。そこで，せっかくデマンドタクシーの回数券もバスで使えるように取扱いをされるということなので，市民へのご

案内の際に、デマンドタクシーと組み合わせた使い方のご提案を周知されてはどうか。

- ▲：報告第2号でも少しご説明しました公共交通ガイド作成の際には、デマンド交通についても掲載することを考えている。道幅が狭いなどで、コミュニティバスではどうしてもルートを通すのが難しい場所もあるので、デマンドについても、見直しを進める、または、そういった乗り継ぎができるということを周知徹底して参りたい。
 - ◆：それぞれをバラバラにやるのではなく、ぜひ、一つのシステムでまわすようご配慮いただきたい。

 - ◆：ルートの終点と、次のルートの出発地点が同じでない場所がある。時間的な調整によるのかもしれないが、これがベストなのか。
 - ：時間が空いているところは休憩になっている。休憩施設の関係もあるが、運行効率に十分配慮して計画している。

 - ：2号車の7時30分 後宿発という便がある。これはほぼ確定で、これ以上の変更はないのか。
 - ▲：変更はないような形で今回お示ししている。
 - ：出発地点を後宿からとしている理由は何なのか。
 - ▲：はじめは水海道駅発の案だったが、運転士の勤務時間超過の可能性があり、後宿からであれば可能だという回答を運行事業者から頂いたため、このような形になった。
 - ：これでは乗る人は誰もいないと思う。後宿発で、三妻駅8時発だが、8時に三妻駅でお客さんが降りることは週に1～2回くらいである。それなら誰を乗せるのかと考えたときに、子供たちの安全が重要な課題ではないかと思っている。今度鬼怒中学校が廃校になる。現状、三坂から水海道中学校まで、かなりの距離を生徒は自転車で通っている。せっかく三妻までバスが来るのなら、そのまま海中まで出しても良いのではないか。鉄道で三妻から北水海道まで行く手段もあると思うが、鉄道での通学は学校で認められていないようである（※）。もしこういうバスがあれば、普段は自転車で行くとしても雨の日や雪の日などにはバスを使えて、通学用の割引や定期券などもあれば、こんな誰も乗らないようなところを走らせるよりも有効活用ができるのではないかと思う。これで決まりならまずは運行すればいいと思うが、乗る人がいないのであれば、その辺の検討をし直していただくのも手かと思う。
- （※）会議後に学校教育課に確認を行ったところ、生徒からの申請があれば鉄道利用は可能であるとの事であった。
- ▲：貴重なご意見ありがとうございます。後宿からの出発とした経緯として、三妻小学校に鉄道で通っている児童にもバスを利用していただけのように、この路線を検討した。今後、経過を見て、路線がもし必要でないようであれば別のルートを検討するなど、随時見直していく。

 - ◆：他に特に無いようであれば、以上の内容でご承認いただけたものといいたしたい。感想となるが、路線数が多いので、実際の運行の際には、なにかルートの呼称を工夫されるといいかと思った。また、

資料4の地図は少し見づらいので、市民向けのパンフレットは工夫して表現されるといいかと思う。

⇒承認

【議案第2号】関鉄パープルバス株式会社「石下駅～鬼怒中学校」系統の廃止について（県地域交通政策推進協議会からの付託）

※事務局及び関鉄パープルバス宮野社長より説明

⇒意見なし

⇒承認

【議案第3号】地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（案）について

◆：残念ながらコロナ禍の影響で目標達成できていないが、回復を目指して目標値は変えていないのだと思う。おそらく今年度や次年度は回復してきていると思うので、目標を下げずに進めていくのが妥当かと思う。他に特に無いようであれば、承認することといたしたい。

⇒意見なし

⇒承認

（報告・議案終了後）全体を通しての質問・意見

○：コミュニティバスについて、常総市に多くお住まいの外国人の方々の利用は想定されているのか。また、公共交通のガイドブックを作成するにあたって、外国人の方にもわかりやすいような、英語表記や外国語表記、バス停へのナンバリングなどの配慮はどのようにお考えか。

▲：外国人の方の利用はもちろん想定している。JOY BUSという愛称の考案者である児童も、外国人の方にもわかりやすいようにと考えて頂いた。今後作成するガイドブックについても、本市ではポルトガル語を母国語としている方が多いこともあり、配慮した内容で記載していきたいと考えている。外国人の方や日本人の方と限らず、まずは皆さんに使っていただいてよりよいものにしていくために、色々な方面から周知・広報をしていきたい。

【その他（1）】コミュニティバスのデザインについて

▲：（配布した資料を基にレイアウト等を少し編集することを補足説明。）

⇒意見なし

【その他（2）】チラシ「JOY BUSの運行開始」について

▲：（外国語表記についても検討することを補足説明。）

⇒意見なし

閉会 午前11:10